

鹿角市の通説異説

⑩ シナノキのこと

⑩-2 八郎太郎と漁業用ロープ（繊維）

八郎太郎の伝説の主題は「まだの木（シナノキ）の皮」です。

昔、八郎太郎はシナノキの皮を採取し、八郎潟の漁業用ロープの原料として供給していたのです。

シナノキの皮は、水に強い（腐食しない）とされています。

八郎潟の漁民は、そのロープを使うことで漁を盛んにし、以て八郎太郎は、八郎潟の神様として祀られているのです。どっとはらえ。

◇参照： 潟上市元木山 八郎潟漁撈用具収蔵庫

<https://twitter.com/GCZsakurada/status/1447669363457155074>

◇参照： 同上（又は）

天王グリーンランド・スカイタワー（道の駅てんのう）内「潟の民俗展示室」

鹿角市の通説異説へ戻る

<https://twitter.com/GCZsakurada/status/1443256164158869506>